

「自家消費型の太陽光発電導入に関するオンラインセミナー」

## 脱炭素社会の実現に向けたイオンの取り組み

2021年10月4日

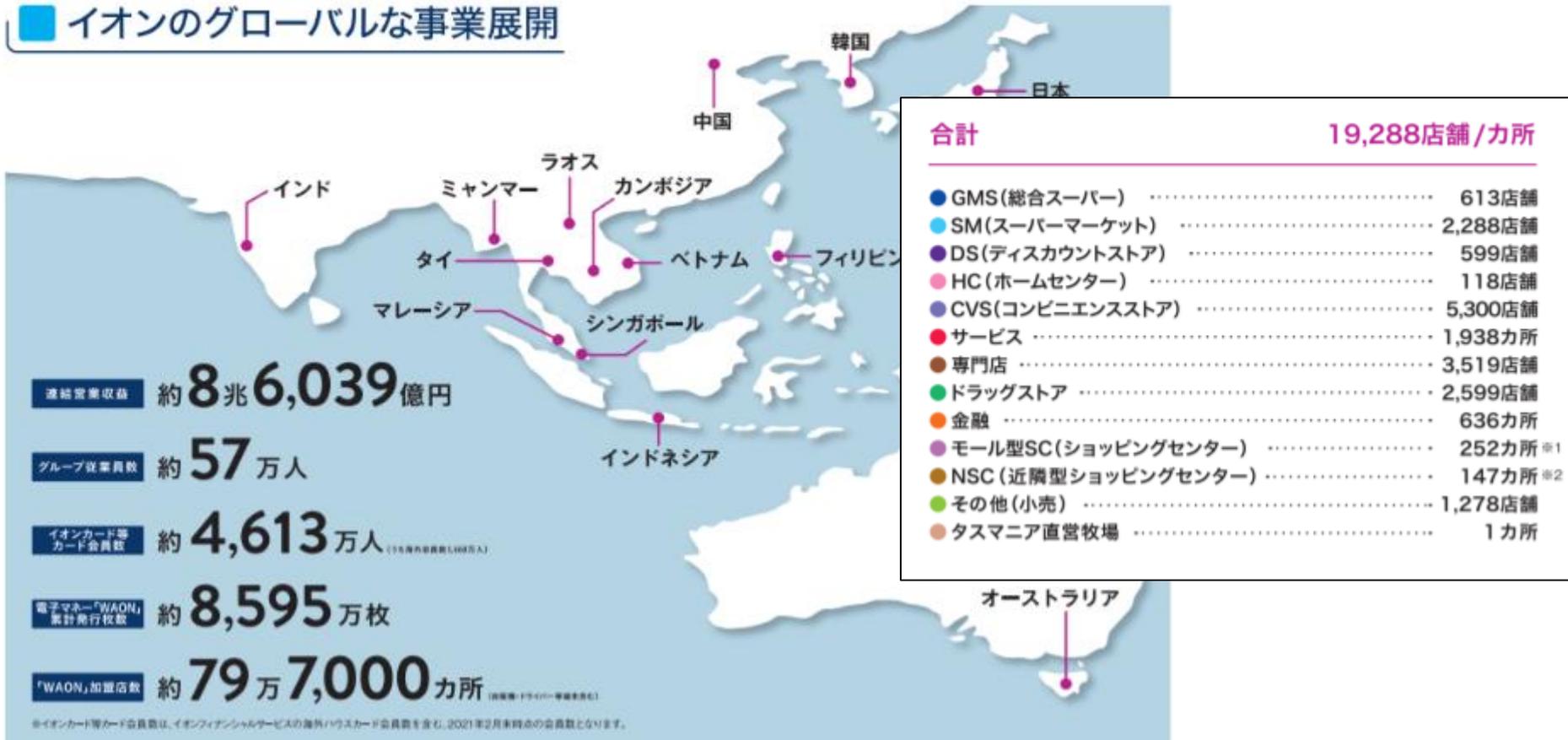
イオン株式会社

環境・社会貢献部

奥田 勝文

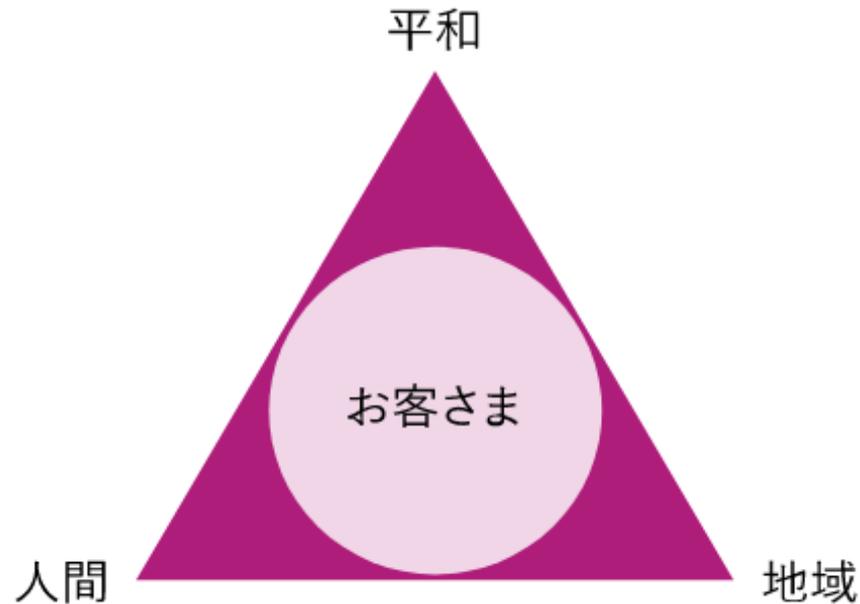
人と地域を豊かにする生活産業：  
～小売を中心に多様な事業が有機的に結びつき、シナジー創出～

## イオンのグローバルな事業展開



## イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。

## イオン サステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

取り組みにあたっては、「環境」「社会」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

### <環境面の重点課題>

- 脱炭素社会の実現
- 生物多様性の保全
- 資源循環の促進

### <社会面の重点課題>

- 社会の期待に応える商品・店舗づくり
- 人権を尊重した公正な事業活動の実践
- コミュニティとの協働

# イオンの環境・社会貢献活動の歩み

1990

2008

2011

2015

2020

2030

2050

■ 国連グローバルコンパクト

■ MDGs

■ SDGs

■ パリ協定



世界の  
目標・動向

イオン

Corporate Social Responsibility

Creating Shared Value

- ・イオン1%クラブ設立(1989)
- ・イオン環境財団設立 (1990)
- ・地球にやさしいジャスコ委員会設立 (1990)

■ イオン サステナビリティ基本方針

脱炭素社会  
の実現

■ イオンの植樹活動開始 (1991)

イオン温暖化  
防止宣言

イオンの  
エコプロジェクト

■ イオン脱炭素ビジョン2050  
2030年中間目標

・グリーンアイ農産物販売 (1993)

生物多様性  
の保全

- ・EurepGAP(現GlobalGAP)を基にAEONGAP導入(2002)
- ・畜産物SQF規格導入(2003)
- ・MSC認証導入(2006)      ASC認証導入 (2014)
- ・FSC認証導入(2008)
- ・GFSIに準拠した工程管理を導入(2008)

■ 持続可能な調達目標 (2017~2020)

資源循環の  
促進

■ 買物袋持参運動開始 (1991)

・店頭資源回収開始

■ 食品廃棄物削減目標 (2017~2025)

■ プラスチック削減目標 (2020~2030)

社会課題への  
対応

- ・サプライヤー取引行動規範 (CoC) 制定(2003)
- ・国連グローバルコンパクト参加表明 (2004)
- ・人権・労働に関する国際基準 S A 8000認証取得 (2004)
- ・国際フェアトレードラベル導入 (2003)
- ・グローバル枠組み協定 (2014)

■ イオンの人権基本方針

■ 東北復興支援イオン心をつなぐPT (2011~2022)

# イオン脱炭素ビジョンの推進

## ■ CO2削減取組の変遷



<p>2005</p> <p>エコストア1号店!</p>	<p>2008</p> <p>エコストア8号店</p>	<p>2012</p> <p>エコストア12号店</p>	<p>2013</p> <p>スマートイオン1号店!</p>
「イオンタウン千種」(愛知県)	「イオンレイクタウン」(埼玉)	「イオンモール船橋」(千葉)	「イオンモール八幡東」(福岡)
			スマートイオン1号店 (現在全国に12店舗)

2015年 パリ協定、SDGsの採択  
低炭素社会 から 脱炭素社会へ 舵を切る

イオン脱炭素ビジョン2050策定 (2018)



## イオン 脱炭素ビジョン

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO<sub>2</sub>等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO<sub>2</sub>等を総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO<sub>2</sub>等をゼロにする努力を続けます。

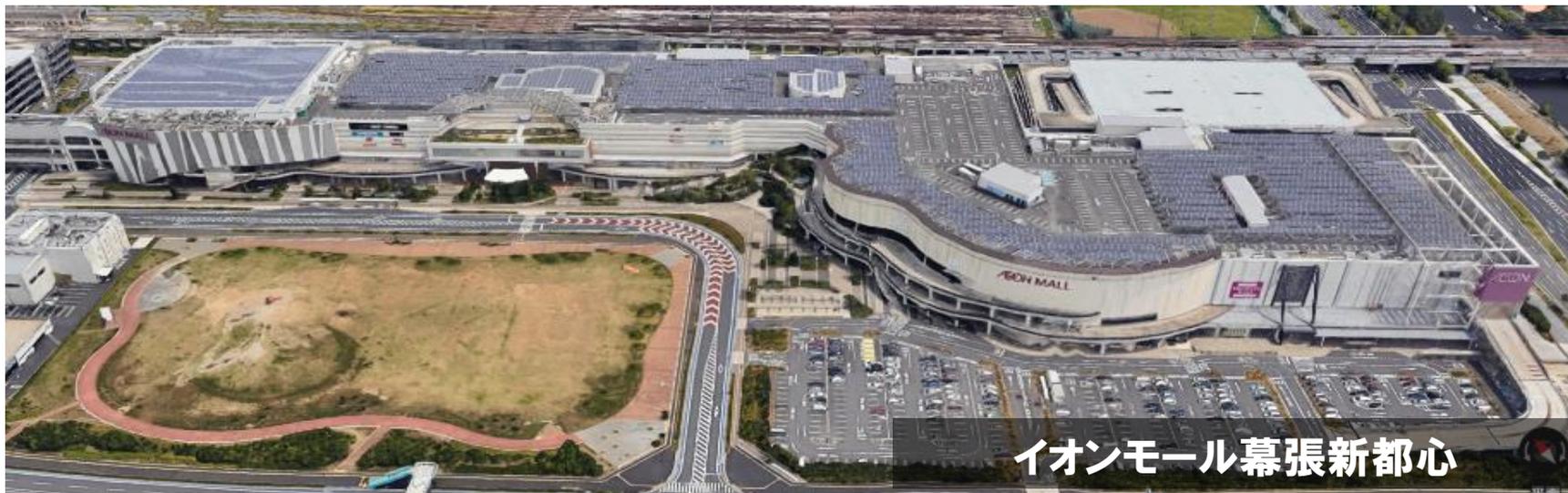
お客さまと  
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

## ■ 太陽光発電設備の積極的な導入



## ■ 太陽光発電設備の積極的な導入



## ■ 太陽光発電設備の積極的な導入



## ■ 太陽光発電設備の積極的な導入（海外事例）



## ■ 太陽光発電設備の積極的な導入（海外事例）



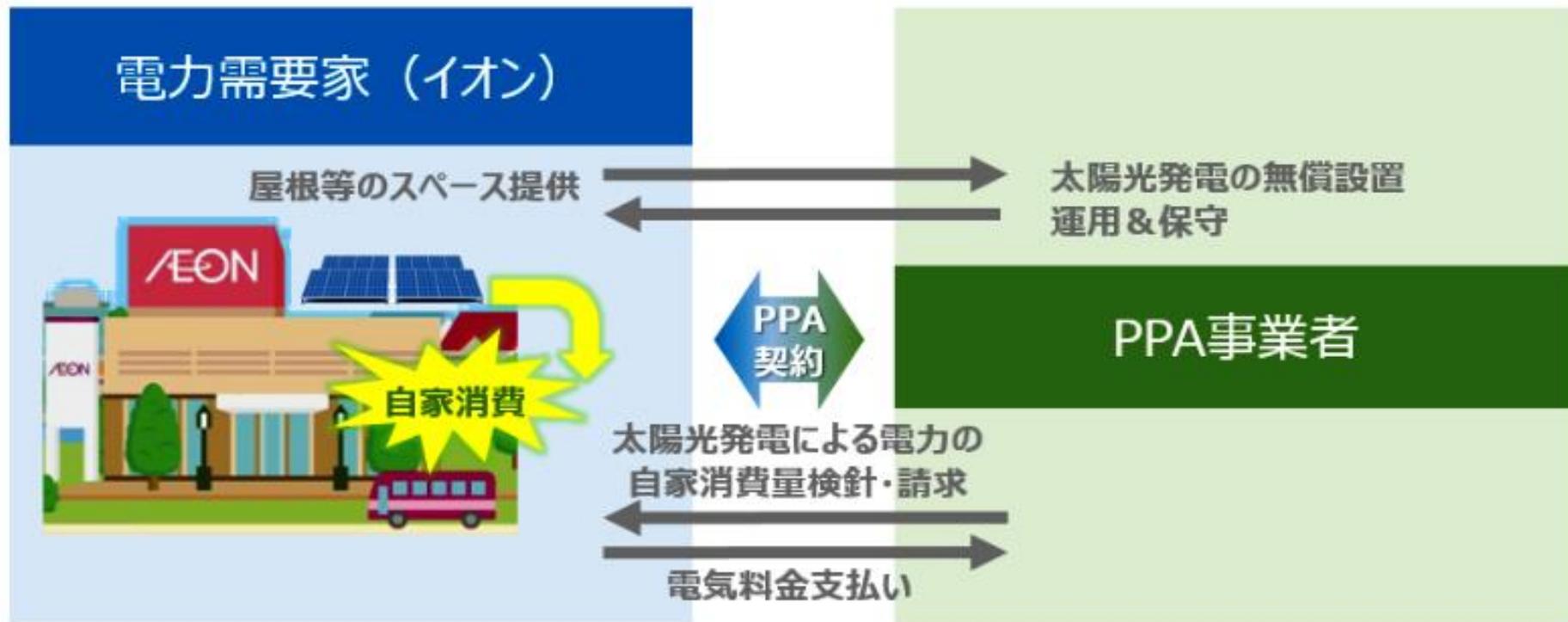
## PPAモデルで太陽光発電設備の導入を加速



**PPA** (Power Purchase Agreement 電力販売契約) **モデル**

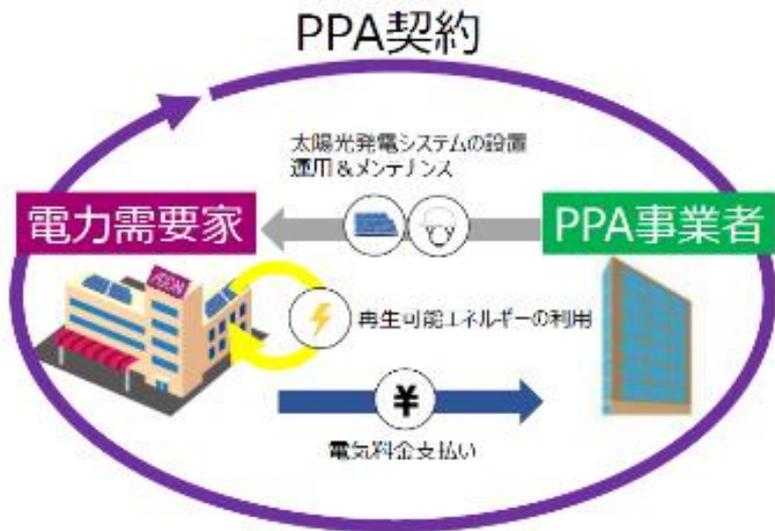
## PPA (Power Purchase Agreement)

太陽光発電事業者の資産として店舗屋根及び空地へ自家消費型ソーラーを設置。発電した電気は店舗で自家消費する。発電事業者がパネルの調達から設置、運用保守まで手掛け、店舗側は初期投資がなく、運用コストの負担もない。通常と同様に電力料を支払うだけの対応。



# 店舗の再エネ化に向けて

## ■ PPAモデルの導入と拡大



- ・2021年7月15日リリース：イオン北海道  
(マックスバリュ沼ノ端店・マックスバリュ弥生店)
- ・2021年7月29日リリース：マックスバリュ西日本  
(マルナカ新倉敷店・マルナカ中島店)



## ■ PPAモデルの導入と拡大

### PPA導入効果

- 再エネの自己消費
- 初期投資の低減（基本ゼロ）
- メンテナンスフリー（発電事業者の保守責任）
- オフバランスで再エネ調達
- 期中での導入、既存店舗への導入がフレキシブル

**ネバフード型SCや小型店舗（SM・ドラッグストア）で  
大容量のソーラー発電が可能なスキームとして積極的に推進**

# 店舗の再エネ化に向けて

## ■ 再エネ100%化の店舗・事業所



イオン藤井寺SC 2019.9～



Mozoワンダーシティ 2021.4～



イオン東雲店 2021.4～



イオンそよら海老江 2020.3  
～



イオンモール福岡 2021.4～



イオンタウンふじみ野 2020.11～



イオンモール川口 2021.5～



イオンモール上尾 2020.12～



イオンスタイル千葉みなと 2021.5～

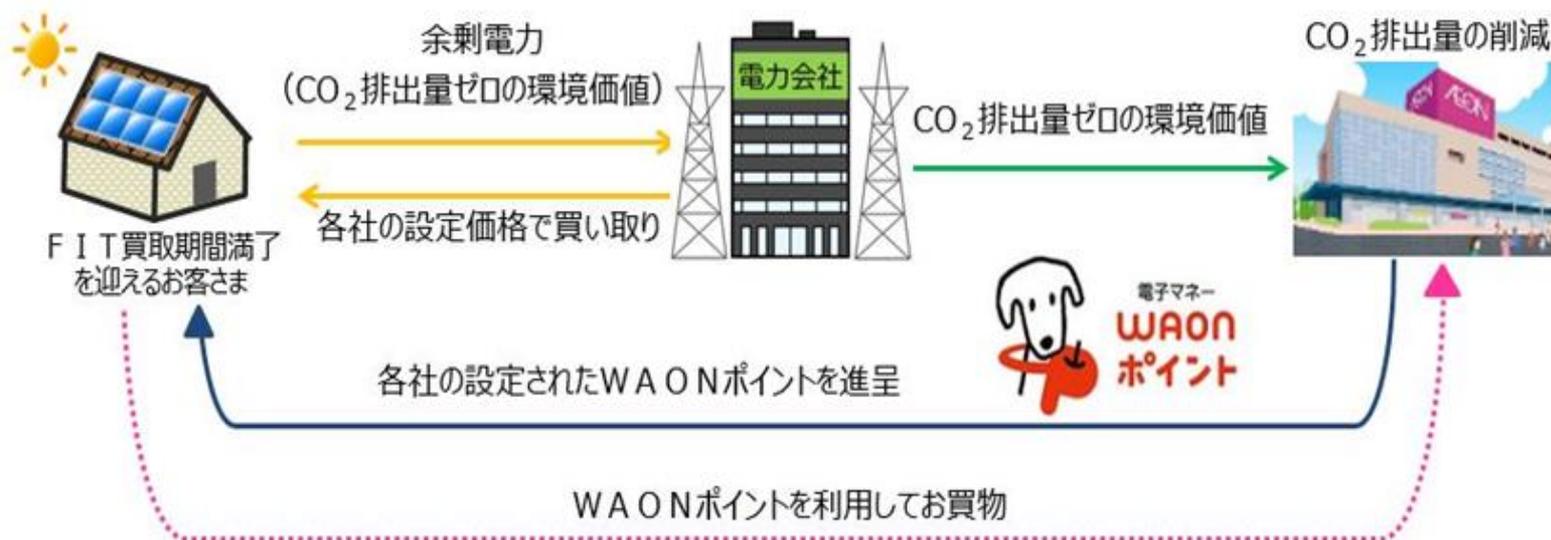


イオンタワー・  
イオンタワー  
ANNEX  
2018.3～

# お客さまとともに進める脱炭素

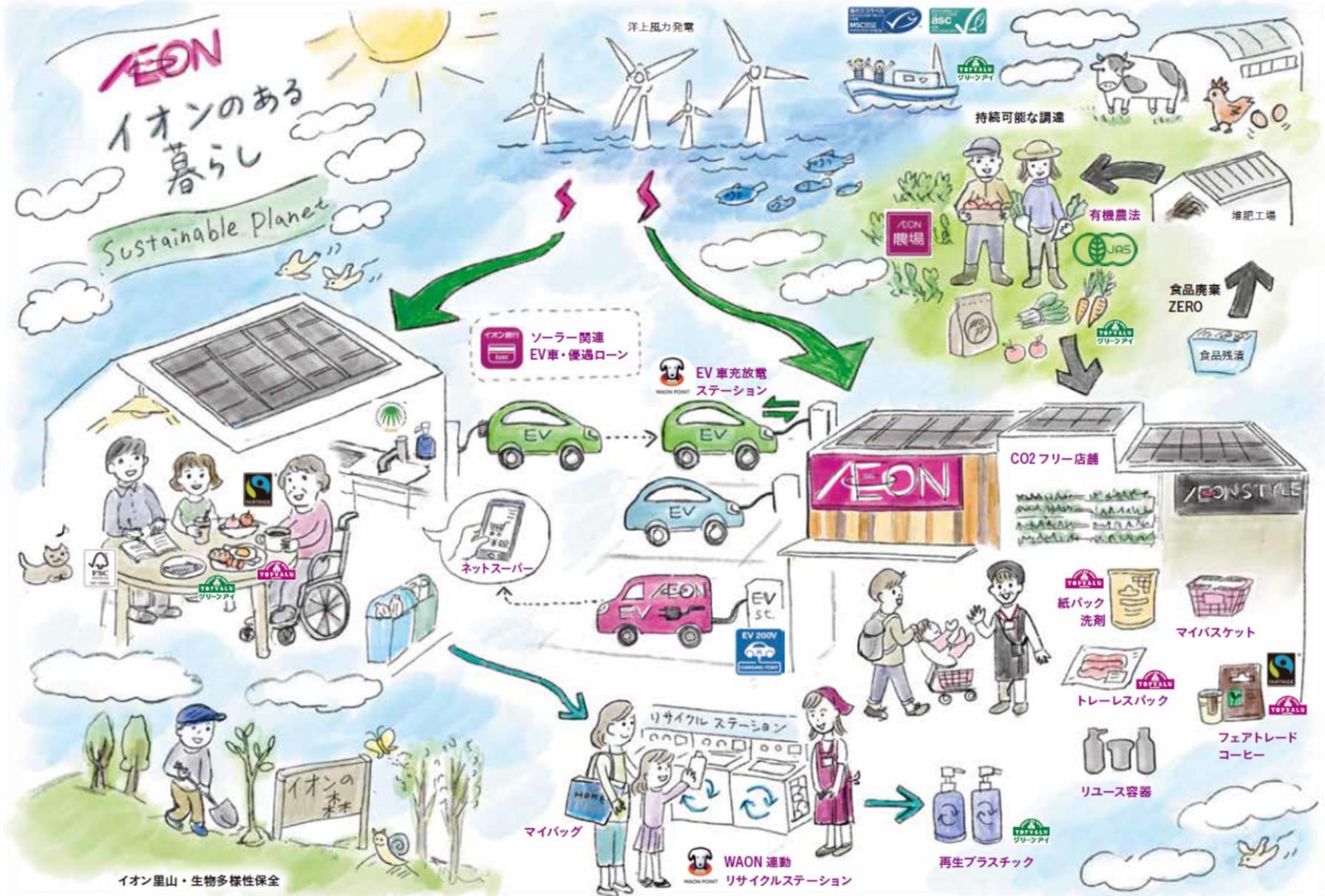
## ■ 卒FIT余剰電力を活用した店舗の再エネ化

FIT終了世帯からイオンの店舗へ提供した余剰電力の量に応じてWAONポイントを進呈するサービス  
(現在、中部、中国、四国 各エリアにて展開中)



中部エリアの事例では、対象のショッピングセンター（3箇所）における消費電力の約25%相当分を卒FITから調達した再エネでカバー

# お客さまのくらしを支える生活産業として



# AEON



木を植えています

私たちはイオンです